

<外国語ボランティア養成講座>

●特別実地研修（前期のまとめ）

9月24日（土） 参加者 日本人35名、外国人7名

県内観光スポットを、外国語で発信できることを目標にした前期のまとめとして黒部市と入善町を選び実施した。バスの中では数人のグループに分かれ自己紹介した後、事前研修で得た知識でそれぞれ外国人に目的地の説明をした。

黒部市吉田科学館では、プラネタリウムやサイエンスショーについて、持てる語彙を総動員して展示の説明に挑戦した。次に入善町の杉沢の沢スギに向かった。この鬱蒼とした森は世界的にも大変珍しく、その場でボランティアの方の説明を通訳する練習をした。

この講座で初めての取り組みとなったが、説明を聞きながらの通訳は、緊張感があってとても新鮮で充実したものになった。



●後期クラス

第1回 10月22日（土） 参加者37名

<<避難所での情報提供>>

言葉の通じない国での災害時の不安を和らげるため、避難所において必要な情報を各国言語で提供する練習をした。まず初めに基本の表現を学んだあと実際に具体的な情報を翻訳した。最後に文化の違いによる翻訳の誤解を防ぐため各国の事情について話し合った。

第2回 11月26日（土） 参加者30名

<<ゴミの出し方>>

まず外国人講師に5か国のゴミ出しルールを日本語で説明してもらった。次にゴミ出しは日常生活の中で一番異文化摩擦が起きやすいので、分別などのルールを外国人に説明する練習を行った。最後に各国の事情を理解した上で、富山市のゴミの出し方のきまりを分かってもらうために必要な外国語を学んだ。

第3回 1月28日（土） 参加者26名

<<アパートの入居と退去>>

中国・韓国・オーストラリア・ブラジルの方から本国でのアパートの入居と退去について説明してもらった後、日本でのルールを外国人にわかりやすく説明する練習を行った。